



© CFAO-Raymond DJIGLA

当社は、2016年にフランスのアフリカ専門商社CFAOを完全子会社化しました。アフリカは成長力とポテンシャルに満ちた大陸で、最後のフロンティアとも呼ばれています。このアフリカで、中長期的視点で事業に取り組む当社は、2017年にアフリカ本部を新設し、自動車、ヘルスケア、消費財・生活産業、テクノロジー&エネルギーの4つのSBUで事業を推進しています。CFAOとの対等な立場・精神でビジネスに取り組むことを宣言し、当社はアフリカの人々とともに成長しています。

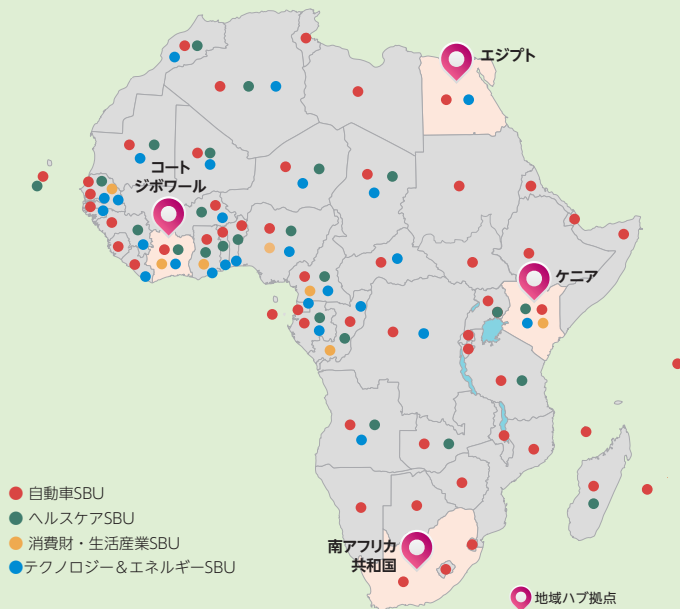
アフリカにおけるプレゼンス

展開国: **54カ国** (36カ国で直接投資)

従業員数: **約15,500名**

グループ企業数: **166社** (2019年3月31日現在)

収益: **約6,000億円** (2019年3月期)



主要4事業の概況

	自動車SBU	ヘルスケアSBU	消費財・生活産業SBU	テクノロジー&エネルギーSBU
展開国数	54カ国	24カ国	7カ国	26カ国
売上構成比	60%	32%	6%	2%



TICADとは、Tokyo International Conference on African Developmentの頭文字で、アフリカの経済成長や現地での事業開発をテーマとする日本政府主導の国際会議です。特徴は、国際機関や友好国の援助ありきではなく、アフリカの自助努力を尊重し、そのための活動を長期的に支援していくことです。この理念は、当社グループのアフリカ事業展開のスローガンである「WITH AFRICA FOR AFRICA」と共鳴します。アフリカ出身者が現地でリーダーシップを取る「WITH AFRICA」、現地の社会課題の解決や、地域経済の発展に貢献する「FOR AFRICA」の考えのもと、TICADにて以下のような取り組みを実施しました。

日程：2019年8月28日（水）～30日（金）
場所：パシフィコ横浜

現地生産体制の推進、アフリカの経済発展に貢献

- ・13カ国の国家元首・首脳級と、当社トップとの個別面談
- ・16件のMOUを締結

当社グループのプレゼンスアピール

- ・「日本・アフリカビジネスEXPO」では、企業最大面積の展示ブースを設け、各国要人が来訪



当社展示ブース

パートナー企業との関係強化

- ・TICAD7前夜の8月27日（火）、当社主催のシンポジウムを開催
- ・「アフリカの変革と日本企業のビジネス機会」をテーマとし、90以上の企業・機関のトップが参加



シンポジウムの様子